

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	<p>研究の名称 ビッグデータからの機械学習による前立腺癌小線源療法 の予後予測法の開発と均てん化への応用</p> <p>研究の対象 「前立腺癌に対するヨウ素 125 シード線源を用いた小線源 療法に関する前向きコホート研究」(JPOPS 研究)で、2005 年から 2010 年までに小線源療法で治療された約 7000 例が 対象である。ただし、本研究ではすべて匿名化された情報 のみ用いる。</p> <p>研究の目的 本研究は、JPOPS 研究ですでに得られている、患者・家族 背景、腫瘍因子、小線源治療パラメータ、外照射併用の有 無等の治療因子、治療効果、有害事象の有無等などの詳細 な臨床情報を用いて、これらの関係を機械学習させること により、新しい前立腺癌の予後予測システムを開発するこ とを目的とする。</p> <p>本研究により、従来になかった、前立腺癌小線源療法の 正確な予後予測アルゴリズムの確立が期待される。予後予 測法が確立されることにより、治療後に個別化した介入が 可能となり、医療費削減効果が期待できる。また施設間の 治療の質の評価と均てん化に役立てることができる。</p> <p>研究の期間 2017 年 8 月（倫理委員会承認日）から 2023 年 3 月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
利用し、又は提供 する試料・情報の	研究に使用する試料・情報： 情報：患者・家族背景、T 因子、PSA 値、Gleason 分類

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

項目	などの腫瘍因子、小線源治療パラメータ、内分泌療法/外部照射情報、国際前立腺症状スコア、治療効果、有害事象の有無などの臨床情報
利用する者の範囲	<p>共同研究機関の名称及び研究責任者</p> <p>東京医療センター 泌尿器科 科長 斉藤 史郎</p> <p>東京医療センター 放射線治療科 科長 萬 篤憲</p> <p>黒沢病院 予防医学研究所所長 伊藤 一人</p> <p>駒沢大学 医療健康科学部 講師 馬込 大貴</p> <p>臨床研究情報センター 研究員 小島 伸介</p> <p>臨床研究情報センター 上席研究員 菊池 隆</p>
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	<p>研究責任者</p> <p>浜松医科大学</p> <p>医学部放射線腫瘍学講座 教授 中村 和正</p>
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合においても、匿名化された情報のため、使用や提供を停止することができません。</p>
資料の入手または閲覧	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合であっても、データセンターの情報が匿名化されている情報のため、個人を特定できません。このため、あなた自身にあなたの結果をお伝えすることができません。</p>
情報の開示	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3192</p> <p>浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	<p>浜松医科大学医学部 診療科：放射線腫瘍学講座 担当者：中村 和正 TEL：053-435-2037 E-mail：nakam@hama-med.ac.jp</p>
--	--